

とっとり 県議会だより

令和6年9月定例会
(2024)

No.050
Sep.
9月
議会

主な記事 Contents

代表質問	2~3p
一般質問	4~7p
お知らせ	7p
常任委員会	8~9p
議決結果	10~11p
高校生議会	12p
議場改修	12p



防災フェスタ 中央広場の様子



土砂埋没車両からの救助訓練



ドローン・レスキューユニット訓練

9月定例会の概要 (9月13日~10月10日)

平井知事から、開会日の9月13日に総額33億7千万円余の令和6年度鳥取県一般会計補正予算(第2号)など11議案が当初提案され、10月1日に人事議案1議案が、10月10日に総額4億8千万円余の令和6年度鳥取県一般会計補正予算(第3号)がそれぞれ追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党と鳥取県議会民主とっとりが行い、一般質問には20名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

- 【知事提出議案】** ◎予算<<可決3件>> ◎条例<<可決3件>>
◎人事<<同意1件>> ◎決算認定等<<継続審査3件>>
◎その他<<可決3件>>
- 【議員提出議案】** ◎決議<<可決1件>> ◎意見書<<可決1件>>
- 【請願】** <<不採択3件>>
- 【陳情】** <<採択2件、不採択16件>>

表紙の写真

とっとり防災フェスタ2024

9月15日、県民の防災意識を高めるため、「とっとり防災フェスタ2024」が東伯総合公園で開催されました。

能登半島地震の教訓を踏まえ地震・津波を主なテーマに関係機関・団体と連携した総合防災訓練が行われた他、訓練参観や防災に関する展示・体験ブースの設置等、県民参加型のイベントとして実施されました。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



東田 義博 議員
選挙区 鳥取市



安全で安心な暮らし

問 昨年の台風7号の創造的復興や河川ダム流域の住民対策、被災からの営農再開支援の取組み、消防団員や防災士の確保及び通信体制の整備、島根原発2号機の再稼働に向けた本県の対応、限界集落を抱える過疎中山間地域の対策について伺う。警察本部長に、高齢者の交通安全対策、シニアライダーの講習、シニアカーの安全利用について伺う。

答 台風からの復興については、予定を上回るペースで着手しており、さらに強靱化を図るため河川や道路の大型ブロックの採用や国道482号の3車線化の計画、私都川の改良復旧工事を行う。ダムの下流域の住民の安全については地元説明会を開催し啓発する。

農業機械を流失した被災農家には営農再開支援事業の継続を検討する。消防団員の確保については検討し、若い消防団の確保につなげ、防災士の活動も支援する。災害時の情報や通信確保については、スターリンクやドローンを活用して強化を図る。島根原発2号機の再稼働に向けて、鳥取県としては安全を第一義として、中電や国、原子力規制庁に安全対策について意見申し込んでいる。再稼働に対する意見は境港市、米子市、県議会とも共有して慎重に検討する。限界集落を抱える過疎中山間地域においても、小学校区単位として支え愛マップなどを通じて助け合いを確立していく。

答 (警察本部長) 高齢者運転対策として運転免許センターに安全運転相談員を配置して、認知力動作力などの指導を行っている。シニアライダーやリターンライダーには、県中部免許センターで実技講習会を開催し講習している。またシニアカーについては、視認性を高めるため、利用者の服装の工夫やLEDライトの活用を広報する。

一人ひとり輝く暮らし

問 障がい者が働くB型事業所の工賃水準向上とひきこもり就労体験への取組み、部落差別の取組みについて伺う。教育長に公立高校のあり方及び同和教育の実践について伺う。

答 障がい者の就労継続支援事業所の工賃総額を4倍に増やし、それぞれの個人の賃金も増やしていく。また、B型作業所の単価の適正化の相談窓口を県に設置する。ひきこもりの方々を支援するため、東中西にひきこもり生活支援センターを開設した。家族への心理的ケアや職場体験などの社会活動をコーディネートする伴走支援を行うしていく。また孤独・孤立のプラットフォームが出来たのでネットワークを図り地域のアプローチを強めていく。部落差別問題では不動産の関係や結婚の際にまだ残っていると云わざるを得ない。またネットでも心ない書き込みがある。これらに粘り強く対策を行う。

答 (教育長) 令和8年から12年までを前期とし学校減はなく、学級減や専門学科の精選を図り、学校の特色化、魅力化をより高めて発信する。同和教育については現実から学ぶことを大原則とし、学校現場の問題に関係者と意見交換

し子どもたちにはしっかりと響く同和教育を推進する。

元気な地域づくり

問 ①鳥取港の利用拡大と港湾整備 ②鳥取県産産物未来共創事業の取組 ③淀江産業廃棄物管理型最終処分場計画に伴う地域振興 ④事業承継事業 ⑤伝統産業の支援 ⑥稲作・果樹農家の後継者・担い手育成 ⑦環境大学と地域連携 ⑧都市と農山漁村との交流 ⑨サンセット・サンライズ・ナイトツアーの振興について伺う。

答 ①航路の付け替えや岸壁工事を行い、より大型のクルーズ船の寄港や物流の拡大を図る。②本県の半導体関連や宇宙産業など成長企業を支援し本県のGDP2兆円を目指す。③処分場計画の厳格な審査を行うことが第一であるが、米子市や地元の要望に誠実に対応すべきと考えている。④事業承継コンソーシアムを立ち上げ、事業承継塾を始めた。⑤伝統の因州和紙や陶磁器など支援制度の見直しを検討する。⑥持続可能な農業経営を応援する。⑦小中高校、エコクラブでの学習や共同調査、地元企業との共同事業などを実施する。⑧観光に農山漁村や歴史などを活用する。⑨夜景や星空などを観光コンテンツとして活かす。

代表質問

鳥取県議会民主とっとり



浜田 妙子 議員
選挙区 米子市



人的資本への投資

問 昨年、人的資本開示のニュースが流れ、人を使い捨てる社会から、働く人こそ宝、そこを磨き上げることで、社会の安定した発展があるとの名言を耳にし、社会の意識転換が始まったとの思いを意識した。ISO(国際標準化機構)も日本も、そのガイドラインを出している。この動きは、働く人にとって自らの職場を理解し、社会の姿勢を知ることになり歓迎し定着させたい。鳥取県の取り組みと現状を伺う。

答 県としても率先してやっていることを考えたい。私たちは住民の皆様へ評価してもらおう必要がある。人的資本の開示をして、7項目に即して評価項目の評価状況を

開示し、県庁としての役割を考えたいと思う。

問 これまで自然災害を経験した鳥取県、ともすれば置き去りにされがちな災害対策担当職員やその家族の声も受け止める配慮を。

答 能登半島地震で国全体も考えるようになって来た。我が県でも、地域防災計画に丁寧に入れて行うと改正作業をした。点検して第2庁舎4階を改装する時に考えてみたい。

変化する教育現場の対応

問 教育現場はブラックと言われる人員不足、過重労働、精神疾患等働き方改革が求められる。子どもたちはいじめや不登校、貧困等。又教育内容は、国際的な流れで、思索型、探究型批判的思考を求められる。複雑、専門化し教師の負担増に対し現状把握が必要。管理職のスキルアップと課題に向き合う教師の共有される考えを問う。

答 (教育長) 教育の全ての基軸として、ふるさとに誇りと愛着を持って自分の人生をどこで誰とどう生きるか、主体的に選択する、

その根底に必ず、この鳥取が根付いていることをキーワードとして取り組んできた。管理職に求める能力は、マネジメント、アセスメント、ファシリテーション能力の三つ。そして人間力。中堅教員の人材育成にも取り組むたい。

問 県庁職員が現場へのコンサルが行えるよう、現場主義を求めたい。知事部局で途中退職者が令和元年から5年度に48人から69人へ、教育委員会で、82人から106人へ。メンタル長期療養は各々42人から73人、41人から53人へ増えている。どんな対策を立てているか。

答 現場主義については大分改善されて来ていると思う。私は就任して、話を聞きに行つて、持続可能な制度と現場との調和が取れる出口を探すことを目指しスタートした。「現場を大切に」を基本理念とし成長させたい。現代は社会が変わり、人間関係が希薄化。それを自覚し組織運営を凶らねばいけない。その意味で若手から提案をもらい実行している。

変化する教育現場

問 探究学習は個々人の興味と関心を伸ばし、子どもの自由意志を尊重しなければならぬ。その環境整備をどう行うか。

答 (教育長) 学びをより深めるための教員向け研修講座も開催し地元大学ともつながり、生徒の視野を広げたい。今、総合型選抜や学校推薦に大学側も大きく変わつて来た。教員が研修を主体的に選択していくように形態も随分変えている。人的資本への投資を踏まえ先生方の意欲が生まれるよう検討を続けたい。

豊かな自然と共に

問 農林水産業を柱とした鳥取県の在り方を問う。地元大学との連携も是非。

答 生産額ベースでの自給率を重視して考え、今121%を150%位へと目指し、さらに上を、と、思っている。色々なつながりが大きな力になる。今後も産学官連携を推進したい。

問 原発から30キロ圏内のリスクは計り知れない。正しい知識と情報は多ければ多い程良いと思うが。

答 福島原発事故の背景に安全神話があったと思う。我々は安全をまだまだ求めて行きたい。自然災害のことも想定が全部出来ていないから。今やっていること以上のことも要求として突き付けたいと県民への責任が果たし切れない。

一般質問

会派正式名称

【自由民主党】

鳥取県議会自由民主党

【民主とっとり】

鳥取県議会民主とっとり

【公明党】

公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のもの（各部署長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

9月定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会

検索



安田 由毅
議員



選挙区 境港市
会派 自由民主党

境港の水産業と米子空港の輸出促進

問 回復傾向にある水産資源を境港の漁業、水産業全体で活かしていけるよう県として今後の境港の水産業振興をどのように考えているか。

答 改革プランを作成し臨む必要があり、冷凍・冷蔵施設の更新問題など浜の機能の在り方について「さかいみなと漁港・市場活性化協議会」で地元関係者と協議の上で今年度中期的ビジョンを作成する。

問 国際便での食品輸出促進のために米子空港に冷凍・冷蔵大型保管庫が必要では。

答 理想としては必要。現状は周辺の既存施設を利用する。



福田 俊史
議員



選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

スポーツを通じた高校の魅力化と地域活性化

問 鳥根県立大社高校が甲子園で活躍したように、スポーツ活動は高校の魅力を高め、歴史と伝統を形作ると考えている。高校スポーツを再興し、各高校の特色や魅力を磨き上げ、地域活性化を進めていくべきではないか。

答 同感。各高校を目指す子どもたちは地域の活力の源にもなる。スポーツを通じた高校の再興に協力していく。**（教育長）** スポーツや文化活動、手話などの社会活動は高校生を輝かせる。そのことを大事にしながら、高校の在り方の検討を進めていく。



前原 茂
議員



選挙区 米子市
会派 公明党

①県内農業振興 ②動物愛護

問 ①昨年の米の高温障害は日本海側で顕著である。高温障害に強い星空舞への品種転換を急ぐべきである②県内の狂犬病予防接種率を見ると、一部の地域で60%台と低い。接種率向上に向けた対応を伺う。

答 ①星空舞のブランドが浸透していない。星空舞の浸透を図るとともに、高温障害に耐える米を推進していく②犬の実数を管理していく、これは行政実務の問題である。届出をよく整理をして、タイムリーに管理していく。



語堂 正範
議員



選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

梨のカメムシ対策 やきとりJAPAN

問 梨などのカメムシ被害を防ぐ手段として網かけは有効。継続的支援が必要では。

答 網かけは効果がある。もう少し踏み込んだ助成制度を検討したい。

問 来年、やきとりJAPAN フェスティバルin倉吉が開催される。鳥取県の畜産はブロイラーが大きなウェイトを占めている。農業振興として県が支援するべきでは。

答 焼き鳥を通じた農業振興も含め県も是非、前面に立って応援したい。経済効果をもたらすイベントになればいいと思う。



島谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

障がい者に対する親なき後の支援について

問 親なき後、障がい者が地域で安心して暮らすための相談支援体制やグループホームなど地域生活拠点の機能充実等の課題への取り組みは。

答 指摘された論点を丁寧にクリアすることが重要。親なき後問題の課題や効果的取り組みについて今後の方向性を出す協議会を関係者、当事者団体、市町村などと立ち上げ新年度以降さらなる前進を図っていく。施設整備については国に引き続き予算確保を要望し、協議会で人材育成を含めた単県の制度も視野に入れながら検討を進めていく。

 **村上泰二郎**
議員

選挙区 西伯郡
会派 民主とっとり

**教員確保・カメムシ・
原発再稼働**

問 ①2年連続で採用予定数を確保できなければ教育への影響は甚大。来年の教員採用予定は②カメムシ被害に営農継続支援を③原発再稼働は地元同意が必要な制度設計すべき、安全性確保・地域振興・信頼関係が必要。

答 ①(教育長) 昨年度は辞退者が多く予定数に不足した。今年度は覚悟を持って1人でも多く確保していきたい②来年以降被害がない対策を作り上げる③周辺地域は同意のメッセージよりも意見を述べ続けていくことが大切。今後もしっかりと見極める。

 **河上 定弘**
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

○**道路交通網の整備**
○**介護人材確保の取組**

問 ①新米子アリーナや山陰自動車道4車線化などの交通量増加を見越し、米子駅北口と車尾を結ぶ新規ルート整備が期待されるがどうか②自衛隊道路の未整備区間について慢性的な渋滞路線と交通安全の観点から事業実施を急ぐべきでは③慢性的な介護人材不足にどう立ち向かうか。

答 ①国道9号の渋滞緩和なども含め利用度が高い路線となるので精力的に協議を進めたい②鋭意進捗を図りたい③業界の意見を聞きながら、新年度の介護人材の確保・育成に向け、協議を進めたい。

 **前住 孝行**
議員

選挙区 八頭郡
会派 無所属

①**林業の皆伐再造林**
②**都市部との連携**

問 ①急峻な土地で、皆伐再造林に適さない地域の再造林の進め方は②森林環境譲与税の対象事業を都市部と連携することについて所見は。

答 ①一遍に全部切っていくのではなくて、皆伐して植え替えて徐々に進める。それでなかなか難しいところは間伐を中心にやっていく。まだら模様で山と付き合っていく②このマッチングをこれから積極的にやっていくのが大切だと思う。我々も山としての売出しを大都市部の市町村向けにやっていくことは、これからのポイント。

 **市谷 知子**
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**優生保護法・万博対応・
淀江産廃・島根原発**

問 ①旧優性保護法に県も加担。知事謝罪を②子ども医療費無料化止める自治体に金出すと言う国通知の撤回。県は無料化止めるな③大阪関西万博会場はガス爆発やカジノ計画。修学旅行の事故は万博促進した知事が責任とるか④淀江産廃計画の軟弱地盤。知事知らなかったと言うが地下水が影響受けかねず、進めるのか⑤被爆する島根原発の避難計画だ。知事は再稼働容認か。

答 ①見守る②県無料化は継続③万博協会の責任④影響あれば許可しない⑤同意の言葉にメリットあるか疑問。

 **山川 智帆**
議員

選挙区 米子市
会派 無所属

**島根原発～周辺自治体
として何ができるか～**

問 ①安定ヨウ素剤の事前配布の検討は②島根原発に係る交付金について、島根県(1,426億)と鳥取県(65億)で交付額に差がある。両県民の命を守るために島根県も含め国と中電に協議できないか。

答 ①事前配布の方法について、事前配布を受けたい方に確実に届くような全国的な工夫を受け止めて、検討する②今後、国に原子力発電所についての要請や中国電力に意見を返す中で、安定ヨウ素剤の問題等、議会の意見を尊重して提出していくべきと思う。

 **銀杏 泰利**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

**鳥取県らしい
やき鳥文化を**

問 蟹取県、星取県などと言わずに鳥取県は鳥だ。全国で鳥の名がつく県名は鳥取県だけ。やきとりJAPANフェスティバル2025in倉吉を発火点にやき鳥文化をつくりたい。県名の由来を知り、鳥と関わり、ヘルシーでおいしい鶏を食する文化、やき鳥文化を花開かせたい。

答 まさに同感、全面的に協力したい。ブランド化していくのも面白い。プランを練っていききたい。単なるやき鳥フェスティバルという以上に波及効果が高く、実行委員会の中に県も参画したい。

 **鳥羽 喜一**
議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

①中部療育園の改善
②労働市場の流動化

問 ①発達障がい等の子どもの診療を行う中部療育園は、受診者が数年で約3倍と急増していることから初診の案内が2カ月先であり、診療体制を整える必要があると考える。

答 ①円滑な治療等が受けられるように、体制を強化する。

問 ②アルムナイ制度(※)を県庁の人事制度に導入し働きやすい職場をつくり、民間事業所の労働市場の流動化の素地を作ることが出来ないか。

答 ②出戻りをおおらかに認めるアルムナイ制度を導入する値打ちはある、運用方法などを検討していく。

 **前田 伸一**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

産業人材確保、日韓国際交流、障がい児対策

問 ①若者の県内就職推進の観点から中山間地域の高校や専門高校の魅力化、生徒数確保の強化を②江原特別自治道との教育交流を開始して30年を迎える。子どもたちの相互交流を更に深めるべき③放課後等デイの重度障がい児の受け入れ確保策は。

答 ①(教育長) 地域が求める人材育成に今後も取り組む②(教育長) 子ども同士が国境を越えて夢のある交流事業になるよう中身を練りたい③国への報酬拡充の要望と併せ来年度に向け施設の充実を図れるよう検討したい。

 **尾崎 薫**
議員

選挙区 鳥取市
会派 民主とっとり

①健全な選挙条例
②社会福祉審議会

問 選挙条例案の提示までは超特急。市町村と丁寧な合意が必要。選挙の侵害行為の停止は県も協力してするのか。

答 議決されたら説明会をし連携して運用に当たる。

問 R3年の児童施設での自死事案に関し社会福祉審議会は2次検証会設置を決めたが、その初回が10か月後だった。余りに遅い。また児童福祉審議会の独立後も障がい児、ヤングケアラー等に鑑み福祉審議会と連携が必要。

答 審議会を開き検証会議の概要報告をする。審議会の審議・諮問方法を工夫する。

 **山本 暁子**
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

男女共同参画
10年後の農業

問 誰もが共同参画できる社会づくり計画の自己評価と今後の展開は?子どもたちに向けた意識醸成の取り組みは。

答 一定の成果が今みられつつある。鳥取県としても地域社会を挙げて立ち向かう。

問 スマート農業には圃場や通信環境整備の視点が必要だ。

答 ご指摘のように視点の違うアプローチをスマート農業が必要としていることを新年度予算に向けて再考する。

問 種子生産はブランド化して売り出すのもひとつの手。

答 地元の皆様と話し合い、検討会で議論をまとめていく。

 **西村 弥子**
議員

選挙区 米子市
会派 無所属

①選択的夫婦別姓②インド交流③主体的教育

問 ①制度の早期導入への考えを②州・地方政府との友好提携と交流を。知事は訪問するのか③子ども自治や人権尊重の主権者教育が重要では(教育長)自己肯定感を高めるため公教育が変わるべきでは。

答 ①差し支えないと考える。十分な議論を加速するべき②多様な言語など困難な面はあるが、パイプを広げ交流拡大を目指す。訪問はタイミングを見て協議③主権者教育プログラムを検討中(教育長)子ども主体の教育にシフトチェンジすべきだ。今後も取組をさらに進めていく。

 **鹿島 功**
議員

選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

高校教員の産業教育手当について

問 産業教育手当が全国で本県だけ支給されていない。専門教員の必要性や現場目線に立ち返りつつ、産業教育手当の復活と待遇改善について現状をどう認識されているのか。今、この手当の在り方を見直すべきではないか。

答 当時の議会の議論もいま一度精査する必要はある。教育委員会の検討に沿って、今後協議を進める。

(教育長) 再支給に向けての検討を進めている。特殊勤務手当とのバランス、兼ね合いを含め協議が必要である。関係機関と前向きに進めたい。

※アルムナイ制度…自社の退職者を対象にして選考を行い再雇用する制度。



興治 英夫
議員

選挙区 倉吉市
会派 民主とっとり

東京一極集中、地方の衰退を止める抜本策を

問 地方創生10年。政府機関の移転は文化庁のみ。地方創生交付金含め財政規模も小さく、東京一極集中、地方の人口減少を止められなかった。首都機能移転や、企業の地方分散のため、大企業の法人税率を首都圏と地方とで違えるような抜本策が必要では。

答 政府機関移転のやり残しはある。企業の地方分散の税制を導入すべきと、知事会で提案した。今後の大きな課題で、中央の政治行政に経済界も含めて、大きな議論が必要。手ごたえもある。鳥取県が提案し、議論をリードする。



福浜 隆宏
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

①原発対策②県立高校体育館のエアコン整備

問 ①原子力災害時、道路復旧等にあたる作業員の被曝量に関する取り決めはあるのか②小中学校と違い県立高校体育館は避難所でないため、空調整備は全額が県負担。不可欠な教育環境として国要望を。

答 ①放射性物質の拡散前に作業を終え、拡散後は自衛隊への応援要請を想定しているが、今後業者と相談していく②(教育長)三位一体改革で打ち切られた補助金復活を求め要望を続けるが、冷却範囲が広く安価で消費電力も少ない「気化熱扇風機」を試行的に米子工業高校へ導入し、検証。



玉木 裕一
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

物価高騰と給食無償化 公共施設の共同整備

問 物価高騰が続き学校給食の地域間格差は広がる。国による一律の無償化を進めるためにも、まずは県が時限的でも、段階的でも無償化への第一歩を踏み出して欲しい。

答 子どもたちの施策は納得と共感を得ながら市町村とコンセンサスをつくっていく。

問 公共施設の整備は、真に住民のために行うべきであり行政の視点で縦割り整備があってはならない。県が包括的に市町村との共同整備を進めていくべきだ。

答 一定のリーダー役なり調整役をいとわずやっていく。

議員の辞職のお知らせ

内田隆嗣氏(米子市選挙区)が8月27日付けで議員辞職しました。

information

県議会からのお知らせ

11月定例会の日程案

期日	日程
11月28日(木)	本会議(開会・提案理由説明)
29日(金)	常任委員会
12月2日(月)	本会議(代表質問)
4日(水)	本会議(一般質問・質疑)
5日(木)	
9日(月)	
10日(火)	
12日(木)	
13日(金)	
17日(火)	常任委員会 特別委員会
18日(水)	特別委員会
19日(木)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからもご覧いただけます。
また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは
こちらから→



みなさまへ

議会だよりは、副議長を委員長とする議員で構成された委員会にて、表紙の写真の題材から議場での質問に渡るまで、一言一句推敲しながら編集されております。

議会だよりへのご要望やご提案は何なりとご相談ください!
(広報委員T)

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続調査や県内外調査、勉強会などの活動を行っています。

農林水産商工 常任委員会



◎ 9月定例会審査結果（議案）

為替相場の急激変動を踏まえた中小事業者の利子負担への補助、県内空港を活用した国際航空物流の発展に向けた試験輸送や、本県和子牛価格の大幅な急落に対する和牛繁殖農家への支援等を含む議案1件を審査し、原案のとおり可決すべきものと決定した。また、新たに提出された陳情1件について、不採択と決定した。

◎ 出前県議会・県内調査（7/31）

出前県議会では、「物流の2024年問題の影響と対応について」をテーマに、運送・荷主・卸・経済団体等の各関係者が一堂に会し、現状や対応策等について活発な意見交換を行った。

県内調査では、伯耆大山駅で鉄道貨物輸送やモーダルシフトの状況等の説明を伺うとともに、

コンテナの仕様や列車の積み込み作業等の現地視察を行った。また、持続可能な物流の実現を目指す運送事業者を訪問し、大型自動移動棚による荷役作業の合理化やドライバーの負担軽減に向けたDX化など、物流効率化の取組状況を調査した。



鉄道貨物輸送の現地調査（米子市）

地域県土警察 常任委員会



◎ 9月定例会審査結果（議案、陳情）

「鳥取県健全な民主主義のための公明かつ適正な選挙の確保等に関する条例」のほか、深刻化する人口減少問題への対策強化を含む一般会計補正予算など4議案について慎重に審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。また、島根原発2号機再稼働の中止を求める陳情など新たに提出された陳情11件について審査し、いずれも不採択と決定した。

◎ 出前県議会（8/21）

「県民の命を守る防災対策」をテーマに出前県議会を実施し、自主防災組織、学生防災サークル、消防団等の団体と危機管理意識向上について意見交換を行った。

◎ 県外調査活動

（7/31～8/2：和歌山県、9/4：島根県）

コンセッション方式による空港整備、防災研修・災害調査研究、災害時の警察機能維持、インバウンド体制の先駆的な取組・DMOとの連携などの取組について調査を行った。また、島根原子力発電所を訪れ、2号機の安全対策について確認した。



島根原発2号機の安全対策の確認（島根県）

常任委員会活動

総務教育 常任委員会

委員長



諸堂 正範
(自民)東伯郡

副委員長



入江 誠
(自民)東伯郡



浜田 妙子
(民主)米子市



広谷 直樹
(自民)岩美郡



野坂 道明
(自民)米子市



山川 智帆
(無所属)米子市



村上 泰二郎
(民主)西伯郡



玉木 裕一
(無所属)鳥取市



山本 暁子
(自民)鳥取市

◎9月定例会審査結果（議案、陳情）

県立境港総合技術高等学校海洋練習船建造工事に係る請負契約の締結及び一般会計補正予算の2議案について慎重に審査を行い、原案のとおり可決すべきものと決定した。また、新たに提出された陳情2件について、不採択と決定した。

◎出前県議会・県内調査活動（7/22）

「学校の魅力化に係る地域と連携した取組」をテーマに出前県議会を実施し、学校、町及び同窓会と地域と連携した更なる魅力化の推進について意見交換を行った。また、境港市において地元団体による学生寮の整備の状況に関する視察及び部活動の地域移行に係る取組についてクラブチームの指導員等から意見を聞くなど県内調査を行った。

◎県外調査活動

（8/6～8：東京都、愛知県、岡山県）

多様なキャリア選択を叶える職員採用試験の取組、中学校における部活動の地域移行の先進的な取組、コミュニティスクールの運営及び県立博物館の改修などの取組について調査を行った。



岡山県立博物館施設改修に係る視察（岡山県）

福祉生活病院 常任委員会

委員長



西村 弥子
(無所属)米子市

副委員長



河上 定弘
(自民)米子市



内田 博長
(自民)日野郡



興治 英夫
(民主)倉吉市



市谷 知子
(無所属)鳥取市



福田 俊史
(自民)八頭郡



島谷 龍司
(自民)鳥取市



前田 伸一
(公明)鳥取市

◎9月定例会審査結果（議案、陳情）

ギャンブル等依存症への対策として、県内の実態把握や特に若年層への啓発等を行う「令和6年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）」など4議案について慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。また、「手話言語による国歌」策定を国に求める陳情について、採択と決定した。

◎県外調査（7/31～8/2：高知県）

医療的ケア児やその家族への支援施策、ユネスコ世界ジオパークに再認定された室戸ジオパークの取組、医療と介護事業所が要介護者の情報を共有できるシステムを構築し、適切なケアの提供に繋げる取組など、先進事例の調査を行い、知見を深めた。

◎出前県議会、県内調査（7/19）

出前県議会では、保育分野の人材不足や保育士確保策等について保育関係者、保育士養成機関、行政等が一堂に会し活発に意見交換した。また、県内調査では、本年4月設置の犯罪被害者総合サポートセンターで、犯罪被害の現状や被害者支援の取組み等について知見を深めた。



犯罪被害者への支援等の取組を調査（鳥取市）

自由民主党										民主とっとり					公明党			無所属					賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果					
島谷龍司	斉木正一	福田俊史	内田博長	浜田一哉	鹿島功	安田由毅	語堂正範	野坂道明	浜崎晋一	村上泰二郎	坂野経三郎	浜田妙子	尾崎薫	興治英夫	伊藤保	前田伸一	前原茂	銀杏泰利	玉木裕一	前住孝行	西村弥子	山川智帆					松田正	福浜隆宏	市谷知子		
議案に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
委員長報告に対する賛否 ※請願・陳情への賛否ではありません																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	23	10	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	23	10	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	33	0	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	33	0	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	33	0	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	33	0	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	32	0	32	採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	30	3	33	採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	24	9	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	24	9	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	31	2	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	31	2	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	31	2	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	31	2	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	31	2	33	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	24	9	33	不採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑩	令和5年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査
⑪	鳥取県健全な民主主義のための公明かつ適正な選挙の確保等に関する条例	可決
⑫	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意
⑬	令和6年度鳥取県一般会計補正予算(第3号)	可決
①	県内における教員養成機能の充実強化等を求める決議	可決
②	「手話言語による国歌」策定を求める意見書	可決

令和6年9月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます →



自由民主党							
東田	入江	河上	鳥羽	山本	川部	中島	広谷
義博	誠	定弘	喜一	暁子	洋	規夫	直樹

議案等番号	件名	委員長報告	東田	入江	河上	鳥羽	山本	川部	中島	広谷
①	令和6年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○
③	鳥取県附属機関条例の一部を改正する等の条例		○	○	○	○	○	○	○	○
④	鳥取県特定個人情報の利用及び提供に関する条例及び鳥取県住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告	東田	入江	河上	鳥羽	山本	川部	中島	広谷
請願6年-30	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬の引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
請願6年-31	現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう国に意見書を提出することを求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
請願6年-32	請願者・陳情者の求めに応じた意見陳述制度の創設について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-24	公文書施行に係るチェック体制の強化について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-25	書類受付時のチェック体制の強化について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-26	県民の声や照会等への適切な対応について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-27	公文書の適切な管理について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-28	県民参画基本条例の趣旨を踏まえた県政の運営について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-29	「手話言語による国歌」策定を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-33	産業廃棄物管理型最終処分場の設置促進について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-34	UPZ圏内の避難計画の重要な対策である屋内退避の運用に関する検証結果が明らかになるまで再稼働の延期を中国電力に求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-35	能登半島地震の状況を受けて、安定ヨウ素剤の積極的な事前配布を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-36	住民の安全な避難を確保するため、屋内退避に関する対策及び災害対策が実行されるまで、島根原発2号機再稼働の中止を中国電力に求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-37	中国電力に対して島根原発2号機の再稼働中止を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-38	主食用米の安定供給に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-39	郵送時の特殊取り扱いに係るガイドラインの策定等について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-40	能登半島地震を踏まえた島根原発の安全対策に関して、鳥取県内における住民の納得と了解が得られるまで島根原発2号機の再稼働を見合わせることを求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-41	能登半島地震を受けた島根原発に係る国及び中国電力への申入れに対する回答に対して、国と中国電力への再度の照会と、中国電力に対して島根原発2号機の「再稼働の了解」を一旦撤回することを求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-42	能登半島地震を受けた島根原発に係る国及び中国電力への申入れに対する回答に関して住民説明会の開催を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-43	島根原発の「安全性、安定供給、経済性、環境適合（S+3E）」の現状と課題を県民に説明するまで、2号機再稼働の中止を中国電力に求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情6年-44	中国電力による県内の「太陽光発電等の出力制御」の現状と島根原発2号機再稼働後の影響、および地域経済への影響を検証することを求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「-」議場に不在であり、表決しなかった議員
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

全会一致で議決された議案

議案等番号	件名	議決結果
②	令和6年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第1号）	可決
⑤	工事請負契約（鳥取県立境港総合技術高等学校海洋練習船建造工事）の締結について	可決
⑥	財産を無償で貸し付けること（境港昭和地区埠頭用地）についての議決の一部変更について	可決
⑦	財産の取得（鳥取空港除雪車）について	可決
⑧	令和5年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について	継続審査
⑨	令和5年度鳥取県営企業決算の認定について	継続審査



(質問順)

鳥取県の次世代を担う県内高校生が、知事や教育長らに質問する高校生議会が7月29日（月）に開催されました。この取組は、開かれた議会を目指す議会改革の一環で、若者たちに県政への関心を高めてもらうことを目的に実施し、今年で14回目となります。

県内9校から参加した20名の高校生は、指導役の県議会議員と意見交換を行いながら質問の原稿を作成し、質問に臨みました。

参加した高校生は、人口減少対策や子育て・人材確保支援、学校における自己啓発制度や生徒募集における環境の整備など日常生活を通して見えてきた課題をテーマに、自らの体験などを交えて質問や提言を行いました。

参加した高校生からは、「鳥取の課題を知ることができた」「政治が身近にあるものだ実感した」などの感想があり、議会や県政への関心や理解を深めていただく機会となりました。

高等学校名	生徒氏名	質問項目
米子北斗	大口 華 角田 実優 福本 璃桜	鳥取県の人材確保について
鳥取商業	三村 柚妃 中上 柚希 村尾 輝斗	鳥取県をより子育てしやすい県にするための提案
鳥取聾	竹村 颯太	災害時における聴覚障がい者の情報アクセシビリティの取組
境港総合技術	高梨 ゆい 海老沼純怜 椎葉 絢都	県内全ての高校にエレベーター設置を
鳥取西	永美 綾香 那須 美海	人口減少対策関連について
米子松蔭	川島 優里	学校での手話の学習の導入について
鳥取東	中口優太郎 山根琉太郎 見生美優羽	高校生の自己啓発 (Self-development) 休暇制度の導入について
日野	青木 環央 河野 遥香	県外生徒募集制度における生徒の生活環境の充実・支援について
倉吉東	坂本 ゆい 眞壁明日架	鳥取県中部地区を宿泊地として盛り上げるために

議場が新しくなりました

鳥取県議会議場は昭和37年の建築以来、60年の時を超え、新しく生まれ変わりました。マイクシステムやスピーカーの更新により論戦が聞き取りやすくなったほか、質問残時間の表示も議会の運営ルールに合ったかたちになりました。また、傍聴席から見える位置に大型スクリーンを設置し、質問の様子や資料を表示するなど、議論の内容が分かりやすくなるよう工夫しています。議場のカーペットはこれまでの赤色から青色に変更し、落ち着いた空間となりました。

県民のみなさまには新しい議場での論戦を体験いただきたく、多くの方の傍聴をお待ちしています。



撮影：斉藤和成 施工：藤原組